



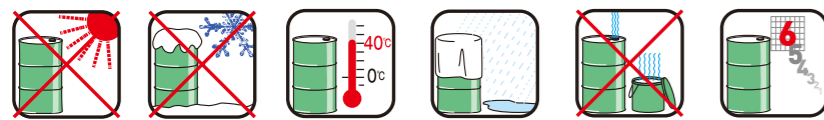
YUSHIRO CLEANER

製品についての相談につきましては、
ご購入先もしくは当社HPよりお問い合わせください。

ユシロ 問合せ



⚠ 保管上の注意



夏季の炎天下や冬季の屋外での保管は避ける

0~40°Cの屋内で保管する

屋外での降雨時はカバーを掛ける

開封状態での保管は不可

保管期間は製造日より
水性: 製造日より6ヶ月以内
溶剤系: 製造日より1年以内

⚠ 取扱上の注意

ご使用に際しては、該当油剤のSDSを事前にご確認ください。製品の仕様は予告なく変更することがあります。取扱および処理方法は法令で義務付けられているものがございます。該当法令にしたがって行ってください。

主な関係法令 | ・消防法・労働安全衛生法・廃棄物の処理および清掃に関する法令
・水質汚濁防止法・下水道法・PRTR法

ユシロ化学工業株式会社
〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16

東京支店 (03)3750-1101 福山営業所 (084)991-3755
名古屋支店 (052)891-0967 広島営業所 (082)506-1456
大阪支店 (072)848-7211 九州営業所 (092)432-9233
北海道営業所 (011)887-0390 テクニカルセンター
東北営業所 (022)297-0577 神奈川 (0467)75-0175
北関東営業所 (0285)27-0766 名古屋 (052)891-0967
浜松営業所 (053)436-6291



ISO 9001
JQA-A-1450
富士工場
JQA-1953
兵庫工場



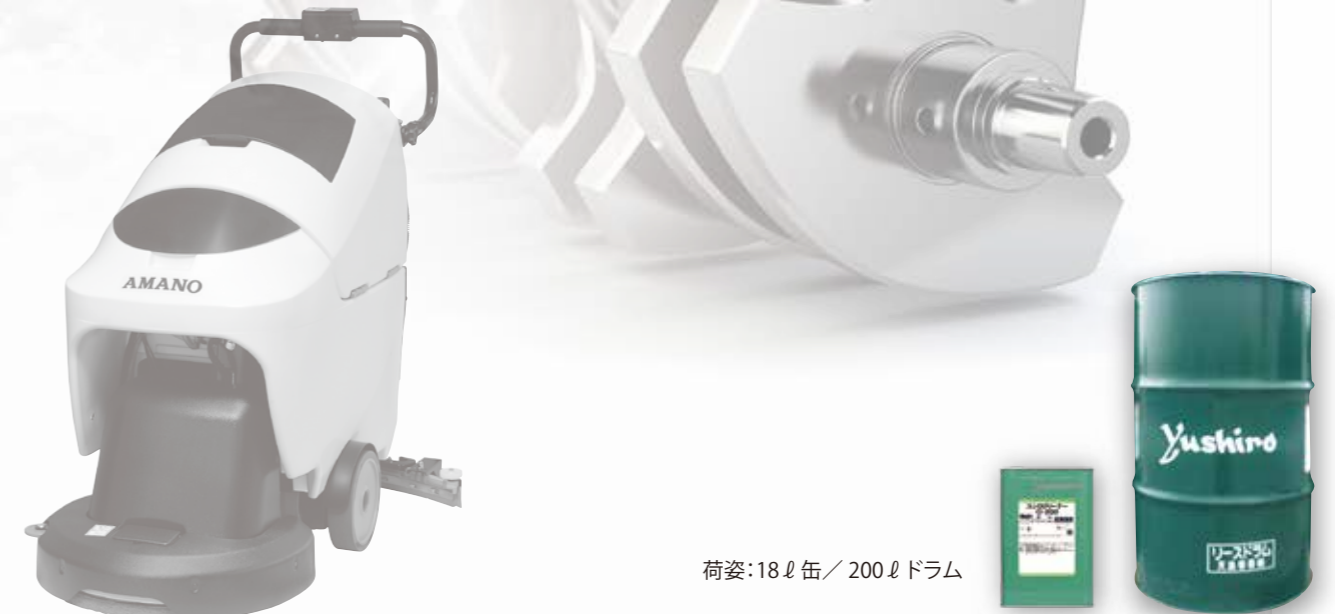
ISO 14001
JQA-EM0809
富士工場
JQA-EM1432
兵庫工場

ユシロ 事務所



YUSHIRO RECOMMENDATION

推奨製品一覧



荷姿: 18ℓ缶 / 200ℓドラム

荷姿：18ℓ缶／200ℓドラム

ユシロクリーナー W・PCW／水系洗浄剤

タイプ	品名	適用金属 ¹⁾			性状				洗浄方法と適温(°C) ²⁾				性能 ³⁾						特徴	用途	
		鉄	銅	アルミ	外観	密度 (g/cm ³) (15°C)	pH (3%)	表面張力 (mN/m,3%)	使用濃度 (%)	浸漬 揺動 超音波	シャワー スプレー	高圧 ジェット	洗浄性	防錆性 (鉄)	消泡性	抗 乳化性	耐 腐敗性	耐 硬水性			
軽質汚れ対象 アルカリ性	中性	PCW51H	△	○	◎	淡黄色液状	1.03	7.5	32	1~5	室温~80	室温~80	室温~80	○	△	◎	○	▲	○	非鉄に対する影響が小さく、スプレー洗浄に適する。	非鉄部品のスプレー・ジェット洗浄。
		W80	◎	○	◎	淡黄色液状	1.06	9.0	38	2~5	室温~80	室温~80	×	○	◎	○	○	▲	◎	鉄・非鉄の防食性に優れる。	鉄・アルミ・銅系部品の機械加工後の工程間洗浄。
		PCW82	◎	○	◎	淡黄色液状	1.06	9.0	35	2~5	室温~80	室温~80	×	○	◎	○	○	△	◎	W80の防錆性を高めた汎用洗浄剤。	鉄・アルミ・銅系部品の機械加工後の工程間洗浄。
		PCW97	◎	○	○	淡黄色液状	1.04	9.2	38	2~5	室温~80	室温~80	室温~80	○	◎	◎	○	○	◎	消泡性に優れる。	鉄・アルミ部品のスプレー・ジェット洗浄。
		PCW161	◎	◎	◎	淡黄色液状	1.03	9.0	38	2~5	室温~80	室温~80	室温~80	○	◎	○	○	○	○	銅に対する影響が小さい。	鉄・アルミ・銅系部品の機械加工後の工程間洗浄。
		PCW300	◎	○	◎	微黄色液状	1.03	9.0	45	2~5	室温~80	室温~80	室温~80	○	◎	◎	◎	○	◎	不水溶性、水溶性加工油に対する油水分離性に優れる。	鉄・アルミ部品の機械加工後のスプレー・ジェット洗浄。
		PCW553X	◎	○	○	淡黄色液状	1.02	9.8	32	2~5	室温~80	室温~80	×	◎	◎	○	○	○	◎	洗浄性と低泡性を両立した洗浄剤。	鉄・アルミ部品の機械加工後のスプレー洗浄。
		PCW562	◎	○	◎	淡黄色液状	1.05	9.0	27	2~5	室温~80	室温~80	×	◎	◎	○	△	△	◎	鉄・非鉄の防食性に優れる。洗浄性と液切り性を高めた汎用洗浄剤。	鉄・アルミ部品の機械加工後のスプレー洗浄。

重質汚れ対象 アルカリ性	中性	PCW25	△	○	◎	淡黄色透明液状	1.04	8.4	29	2~10	室温~80	50~80	×	◎	△	▲	△	▲	◎	洗浄性に優れる。	油污れの激しい部品の洗浄。
		PCW175M	◎	○	○	黄色液状	1.08	8.4	29	1~5	室温~80	50~80	×	◎	○	△	○	○	◎	脱脂力が強い。ワークの表面のベタツキが少ない。抗乳化性に優れる。	油污れの激しい鉄・アルミ部品の洗浄。特に焼入れ後の洗浄。
	アルカリ性	PCW71	◎	○	◎	淡黄色透明液状	1.16	12.4	34	2~5	50~80	50~80	×	◎	○	△	△	◎	○	脱脂力が強い。防食性、耐腐敗性良好。低COD。リンスが必要。	鉄・アルミ部品の洗浄。
		PCW420	◎	△	×	淡黄色液状	1.14	12.3	31	2~5	50~80	50~80	×	◎	○	△	△	○	◎	油と金属・土砂等の微粉が混ざった汚れの洗浄に優れる。	ホーニング、ラッピング後の鉄系部品の洗浄。通い箱(通函)の洗浄。

1) 適用金属 ◎好適 ○液溜まり、重なり部等の乾燥しにくい部分で変色する場合がある △洗浄条件に合わせた確認が必要 ×不適【非鉄金属に適用する場合は、お問合せください。】
 2) 洗浄方法 ×泡立ちやすいため不適
 3) 性能 優←◎—○—△—▲→劣

ユシロクリーナー O・S・SL／溶剤系洗浄剤

品名	溶剤の種類	性状				洗浄方法			法規制		特徴	用途
		外観	密度 (g/cm ³) (15°C)	引火点 (°C)	臭気 ¹⁾	浸漬・揺動	ブラッシング	スプレー	危険物の分類	有機溶剤中毒 ²⁾ 予防規則の分類		
O-200	パラフィン・ナフテン系	無色透明液状	0.81	76 ^{注1}	○	○	○	○	第3石油類	○	高引火点、低臭気、透明感良好であるため、灯油、軽油等に替わり、安全性、職場環境の改善が可能。	金属洗浄、磁気探傷液。
S-100	パラフィン・ナフテン系	無色透明液状	0.76	40 ^{注1}	○	○	○	×	第2石油類	第3種	乾燥性に優れる。	塗装部品、機械等の洗浄、金属洗浄。
SL430	パラフィン系	無色透明液状	0.75	42 ^{注1}	◎	○	○	×	第2石油類	○	臭気が極めて少ない。低毒性。乾燥性に優れる。	手作業が多い一般機械、部品等の洗浄。
SL450	パラフィン系	無色透明液状	0.76	96 ^{注2}	◎	○	○	○	第3石油類	○	臭気が極めて少ない。低毒性。高引火点。	手作業が多い一般機械、部品等の洗浄。

1) 臭気 弱←◎—○—△—▲→強
 2) 有機溶剤中毒予防規則の分類 ○非該当

注1 TCC(タグ密閉式)による測定です。
 注2 C.O.C.(クリーブランド開放式)による測定です。

荷姿：18ℓ缶／200ℓドラム

ユシロクリーナー WR・WRS/水置換剤

品名	性状			性能 防錆期間(日)	使用方法		法規制		特徴	用途
	外観	密度 (g/cm ³) (15℃)	引火点 (℃)		使用濃度(%)	洗浄方法	危険物の 分類	有機溶剤中毒 ¹⁾ 予防規則の分類		
WR	黄色透明液状	0.86	76	2~4	2~5	浸漬	第3石油類	○	水置換性に優れる。石油系溶剤に2~5%添加して使用する。	鉄、レンズ等表面の水分除去。
WRS	淡黄色透明液状	0.81	76	2~4	原液	浸漬	第3石油類	○	WRのストレート使用タイプ。	鉄、レンズ等表面の水分除去。
WRS30	淡黄色透明液状	0.81	76	2~4	原液	浸漬	第3石油類	○	非鉄金属への影響が小さい。ストレート使用タイプ。	鉄、非鉄金属、レンズ等表面の水分除去。

1) 有機溶剤中毒予防規則の分類 ○非該当

ユシロクリーナー MC/工場メンテナンス用水系洗浄剤

タイプ	品名	性状				使用方法		特徴	用途
		外観	密度 (g/cm ³) (15℃)	pH (10%)	表面張力 (mN/m,3%)	使用濃度 (%)	洗浄方法		
床用	MC21	青緑色透明液状	1.03	6.9	33	2~10	希釈液を塗布し、自動床洗浄機を用いるかブラシ等で擦る。その後、バキュームまたは水洗いする。	中性タイプの床用洗浄剤。	工場床、通路の日常洗浄。
	MC22	緑色透明液状	1.06	12.4	28	2~10		汎用の床用洗浄剤。	工場床、通路の定期洗浄。
	MC36	緑色透明液状	1.08	10.9	27	1~5		洗浄性に優れる。	汚れの著しい工場床、通路の定期洗浄。
機械及び 工具類	MC72	青色透明液状	1.06	12.6	33	10~100	原液または希釈液を塗布し、濡れたウエス等で拭きあげる。	拭き取りが容易であるため、平面部の多い大型機械等に適する。	平面部の多い大型機械、立体物の洗浄。

濃度測定試薬 amv1のご紹介

本試薬を使うことにより、洗浄剤の濃度が簡単に精度よく測定できます。また、使用する試薬は1種類であるため、試薬管理もしやすいです。

荷姿：1ℓ

濃度測定の操作手順

① 駒込ピペット等で使用液を5mL採取します。

② 使用液5mLをメスシリンダーに移します。

③ 濃度測定試薬を少量入れ、液の色が青色になることを確認します。

④ さらに濃度測定試薬を少量ずつ入れていきます。(色が徐々に変化)

⑤ 滴定初期は滴定液を0.5~1mL入れる毎にメスシリンダーを軽く振り、液を混合させます。

⑥ 終点が近づくと液の色が緑色になります。終点近くは滴定液を1~数滴ずつ入れます。

⑦ 液の色が黄色になった時点を終点とします。

終点までに入れた濃度測定試薬の量をメスシリンダーの目盛りから読み取ります。

滴定量 = 目盛り - 5mL (最初に入れた使用液量)

廃液処理

滴定終了後の廃液は専用容器に入れて密栓し、冷暗所に保管してください。廃液処理は専門業者に依頼してください。

濃度(倍率)計算方法

【例】PCW562の使用液濃度(%)は…0.21×滴定量(mL)

ユシロクリーナーPCW562の濃度検量線

5

6